

使用にあたってご注意いただきたい点

■アダプターSRD-5は、スタックスのイヤ・スピーカーSR-3およびSR-1を、一般のメイン・アンプにつなぐ場合に使います。

■前面にSR用のコンセントが2個あり、SRを2組同時に聴くことができます。

■前面にスライド式切換スイッチがありますが、イヤ・スピーカーのときはES（＝イヤ・スピーカーの意）にしてください。

■同じメイン・アンプでスピーカーも聴きたいときは、スピーカーのコードを本機背面のターミナルにつなぎ〔結線の項を参照〕、上記スイッチをSP（＝スピーカーの意）の方に切換えます。

■本機を置く位置はどこでも差支えありませんが、ピックアップのごく近くなどは避けた方が、雑音の点で安全です。

SRD-5をつなぐアンプ

■トランジスター式でも真空管式でも差支えありません。

■アンプは出力5W又はそれ以上のメイン・アンプで、そのSP（スピーカー）端子につながります。

■メイン・アンプでもヘッドフォン・ジャックは使えません。

■プリアンプ、テープ・レコーダー、FM-AMチューナー、トランジスター・ラジオなどには、直接、つなぐことはできません。必ず、メイン・アンプのSP端子につなぐことをお忘れなす……。

結 線

表紙の図からおわかりのように、今までアンプから直接スピーカーにつないでいたところを、アンプからSRD-5に行き、SRD-5からイヤ・スピーカー又はスピーカーに結ぶことになるわけです。

本機の電源プラグを電灯線（AC100V）に差し込む前に、左頁／上の接続図のように結線してください。この図はトランジスター・アンプを示していますが、真空管式でしたら、SP端子の8Ωを+（プラス）、0Ωを-（マイナス）とお考え頂けばよいのです。

①本機の背面からコードが3組出ています。白／青の組がアンプの左（L）チャンネル行、赤／黒の組が右（R）チャンネル行、そして電源プラグのついたコードが電源コードです。

②まづ白／青と赤／黒を指定どおりアンプのSP端子につながります。

③スピーカーの接続は、図のとおり、ターミナルにコードを結びます。そのとき、コードの芯線はよく束ねておき、線が一本二本ほぐれてターミナルの端子以外の金属部分に触れぬよう注意して下さい。

④スピーカーを使用しないときは、何もしないでよいのです。

イヤ・スピーカーを聴くとき

①スイッチをESにします。